



犬専用カートでみかんの大満足!! (左)風呂桶・佐伯泰英事務所

みかんの「好物」

佐伯通信

2023年3月(令和5)
第63号
発行
佐伯泰英事務所
担当/光文社
禁・無断転載

飼い犬みかんの好きなものは、一番目が当然ながら三度の食事だ。みかんはアトピーがあるので食べられる物は限られているし、常用の薬を飲むのが習わしだ。みかんは薬ならば

どんな薬でも大好きだ。初代の柴犬には薬なんか飲ませる経済的な余裕がなかった。二代目は、薬を飲ませる折りは大騒ぎで最後にはチーズに包んで飲ませていた。だが、みかんは薬をやつと勘違いしている。二番目に好きなことは睡眠だ。ともかくよく寝る柴犬で、どんな状況下でも眠る。三番目は、一週間一度の湯あみ、お風呂だ。プラスチックのみかん専用の湯船に温泉の湯を張って入れてやるのと、とろんとした表情で浸かっている。昨年の秋口くらいから

佐伯泰英 / 近刊のお知らせ

6月 13日	7日	5月 9日
『 竈 稲荷の猫』(仮) 《光文社文庫》 短期集中新シリーズ 第1巻	『 柳橋 の桜』(仮) 《文春文庫》	『 空也 十番勝負 10 完結』 《文春文庫》 「佐伯通信」第64号が入ります。 (初版の初回出荷分のみ読み込み)
時代小説 295冊目	時代小説 294冊目	時代小説 293冊目
《光文社文庫》 吉原裏同心 【決定版】	4月12日 25 流鶯 5月11日 27 浅き夢みし	26 旅立ちぬ 28 秋霖やまづ

※発売日は予定です。

出版社からのお知らせ 光文社文庫・文春文庫

佐伯泰英300プロジェクト始動!

2024年1月、佐伯泰英先生の書下ろし時代小説が刊行点数300冊を迎えます。1999年1月刊行の『密命』刊行から25年、「書下ろし時代小説文庫」という一大ジャンルを作り上げた唯一無二の作家の、大きな到達点となります。

現在、佐伯先生の文庫を刊行しております光文社と文藝春秋では、それを記念し、今年5月刊行の『空也十番勝負10 奔れ、空也』からカウントダウンプロジェクトとして、来年1月に向けてさまざまなことを展開していく予定です。

最終面の近刊のお知らせをご覧ください。刊行予定の下に通巻となる数字も入れてあります。5月の『奔れ、空也』が293冊目、6月の短期集中新シリーズの第1巻が294冊目、同じく6月の読切作品『竈稲荷の猫』(仮)が295冊目となり、来年1月の300冊に向けてのカウントダウンが始まります!

このプロジェクトの内容の詳細は、今後の佐伯通信、さらには書店店頭などで随時お知らせしてまいります。記念すべき瞬間へ向けて、より一層のご愛読をどうぞよろしくお願いいたします。



近刊・作品情報はこちらでもチェックできます。
<https://www.saeki-bunko.jp> 佐伯泰英 ウェブサイト 検索

2023年の「佐伯通信」は、佐伯泰英事務所が(株)文藝春秋、(株)光文社の協力のもと発行します。

が温泉の温度が六五度くらいから四一、二度に落ちた。温泉好きの私としてはこの湯温ではもの足りない。ぬるいのだ。そこで電気タイプの簡易追い焚き機を通販で買ったが、使えませんでした。このような器械は二〇〇リットルくらいまでのユニットバスの湯温を上げるには効果的だが、石造りの風呂場には全く無力なのです。そこでアルミ製断熱シートを使って保温を試みようとしてホームセンターに探しにいった。その折りのことだ。なんとショッピングカートのコーナーに犬を乗

せて店内に入っている犬専用カートを見、みかんの乗せてみた。すると、初めて経験するホームセンター内の光景に陶然とした表情を見せて、なんとも大満足のようだ。ということだ。だ今のみかんの大好きは、犬専用カートのあるホームセンター訪問だ。もし食べ物だらけのスーパーへの訪問ならばもっと興奮するだろうな。

▼ 文春

居眠り磐音・吉原裏同心・酔いどれ小藤次・密命…

電子書籍のお知らせ

▼ 光文社

あの佐伯作品が / 電子書籍で!

PCやスマホでも読めます